



2022年6月

2022年6月にリリースされた、シスコのクラウドベースの機械学習によるグローバル脅威アラートに関するアップデートです。

- [追加の脅威検出 \(1 ページ\)](#)

追加の脅威検出

以下の新しい脅威検出をポートフォリオに追加しました。

- AutoKMS ハックツール
- Raspberry Robin
- UNC2447 アクティビティ

また、既存の脅威検出のインジケータも更新しました。

AutoKMS ハックツール

ハックツールは、Windows ソフトウェアにパッチを適用して製品認証キーなしで実行するために使用されます。しかし、このツールの実行は、マルウェアや望ましくない可能性のあるアプリケーションに関連付けられている可能性があります。

お使いの環境で AutoKMS ハックツールが検出されたかどうかを確認するには、[\[AutoKMS ハックツール脅威の詳細 \(AutoKMS HackTool Threat Detail\)\]](#) をクリックして、グローバル脅威アラートで詳細を表示します。

図 1:

AutoKMS hacktool
Execution of KMS tool to interact with local system

Low Severity **Confirmed** 5+ affected assets in 5+ companies

Hack tools are used to patch Windows software to run them with out an authentic product key. However, the execution of this tool can be associated with malware or potentially unwanted applications.

Category: Attack Pattern - unknown

Raspberry Robin

Raspberry Robin は、外部ドライブから .lnk (T1204.002) ファイルを介してマシンに感染し、msiexec.exe (T1218.007) で実際のペイロードをダウンロードし、rundll32.exe (T1218.011) でコードを実行し、TOR 接続 (S0183) を介して C2 を確立します。そのインフラストラクチャは、侵害された QNAP デバイスに基づくものです。

お使いの環境で Raspberry Robin が検出されたかどうかを確認するには、[\[Raspberry Robin脅威の詳細 \(Raspberry Robin Threat Detail\)\]](#) をクリックして、グローバル脅威アラートで詳細を表示します。

図 2:

Raspberry Robin
Windows based Worm capable of spreading through infected external drives

High Severity **Confirmed** 10+ affected assets in 5+ companies

Raspberry Robin infects victim machines through a .lnk(T1204.002) file from an external drive, downloading actual payload through msiexec.exe(T1218.007), executing its code through rundll32.exe(T1218.011) and establishing its C2 through TOR connections(S0183). It's infrastructure is based on compromised QNAP devices on cloud.

Category: Malware - botnet

UNC2447 アクティビティ

UNC2447 は、ランサムウェアを使用してデータを取得し、フォーラムで被害者のデータを漏洩する可能性があるグループです。このグループは、さまざまな RATS と、SOMBRAT (S0615) や FIVEHANDS (S0618) などのランサムウェアファミリーを使用することが知られています。ADFind (S0552)、BLOODHOUND (S0521)、MIMIKATZ (S0002)、PCHUNTER、RCLONE、ROUTERSCAN、S3BROWSER、ZAP、7ZIP (T1560.001) などのツールがこのグ

ループに使用されます。また、このグループは、TeamViewer や LogMeIn などのリモートアクセスアプリケーション (T1219) も使用します。

お使いの環境でUNC2447アクティビティが検出されたかどうかを確認するには、[\[UNC2447アクティビティ脅威の詳細 \(UNC2447 Activity Threat Detail\) \]](#) をクリックして、グローバル脅威アラートで詳細を表示します。

図 3:



UNC2447 Activity
Russian State Actor with Cyberespionage Capabilities

Critical Severity **Confirmed** 5+ affected assets in 5+ companies

UNC2447 is a group that uses ransomware to obtain victim data and some times leaks the victims data in forums. The group is known to use different RATS and ransomware families like SOMBRAT (S0615) and FIVEHANDS (S0618). Some of the tools used by this group are: ADFIND (S0552), BLOODHOUND (S0521), MIMIKATZ (S0002), PCHUNTER, RCLONE, ROUTERSCAN, S3BROWSER, ZAP and 7ZIP (T1560.001). It has been observed that this group also access their victims via remote access applications (T1219) such as TeamViewer and LogMeIn.

Category: Attack Pattern - malicious file communication

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。